



協議会メンバー：県医師（会長・常務理事・理事）、県糖尿病協会（会長・岐大教授）、県糖尿病学会（岐阜市民病院・大垣市民病院）、岐阜市医師会（副会長）、県保健所代表、岐阜市保健所所長、県歯科医師会（副会長）、県薬剤師会（副会長）、県看護協会（会長）、県栄養士会（会長）、県衛生・国保担当課（課長）

（参考）

糖尿病性腎症は人工透析導入患者の原疾患の4割を占め、医療保険財政の負担となっている。

このため、県は、糖尿病性腎症重症化予防に向けた取組を促進し、ひいては医療費適正化に資することを目的に、県医師会及び県糖尿病対策推進協議会と連携協定を締結するとともに、「岐阜県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、平成29年12月1日付で公表。

＜連携内容＞岐阜県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進

三者は連携し、岐阜県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進。事業の検証結果を踏まえ必要な見直しを行う。

＜三者の役割＞

岐阜県医師会

- ・プログラムを市郡医師会へ周知
- ・かかりつけ医と専門医等との連携の強化など連携体制の構築に協力

岐阜県糖尿病対策推進協議会

- ・プログラムを構成団体へ周知
- ・県民や患者への啓発、医療従事者への研修
- ・県内における糖尿病重症化予防の取組の助言

岐阜県

- ・プログラムを市町村等へ周知
- ・保健指導従事者への研修
- ・市町村における円滑な事業実施の支援